

採寸方法

以下より採寸方法をご選択ください。

天井付け

窓枠内側に取り付ける方法

窓枠の内側にブラインドが収まるため、部屋がすっきり見えます。窓際の家具と干渉する心配もありません。



天井付け(カーテンBOX)

カーテンBOX内に取り付ける方法

ボックス内に取り付けると、上部のメカ部分が見えず、整った印象に。窓を大きく見せ、光漏れも軽減します。



正面付け(窓枠)

窓枠外側・正面に取り付ける方法

窓枠の正面に取り付けることで、窓まわりがきれいにまとまり、全体に自然な一体感が生まれます。



正面付け(壁面)

窓枠外側・正面に取り付ける方法

窓全体をしっかりと覆えるため、光漏れを防ぎ、遮光性が高まります。窓を大きく見せたい場合にもおすすめです。



採寸方法 > 天井付け

◎採寸には必ず金属メジャーを使用してください。

01 奥行きを測る

取り付けに必要な奥行きは**6.5cm**です。

※窓枠内に取っ手などの障害物がある場合は、障害物の手前から奥行きを測ってください。



02 幅と高さを測る

幅と高さは、どちらも窓枠の内側（内寸）を端から端までミリ単位で測ります。



注文時のPOINT

・天井付けは測った寸法そのままご注文ください。

※商品は窓枠に入るよう、製造部門で適切なサイズを差し引いて製造いたします。スラット（羽根）はご注文幅から左右0.5cmずつ（合計1cm）短くなります。

※高さは商品の特性上、指定サイズの-0.5cm～+2.5cm程度の誤差があります。

採寸方法 > 天井付け



注意事項

- 木の窓枠または木の下地が入っている天井面に取り付けが可能です。ご注文前に下地の有無をご確認ください。
- 窓枠や下地に2cm以上ビスを入れて固定する必要があります。同梱のビスの長さは2.5cmです。



●2分割する場合

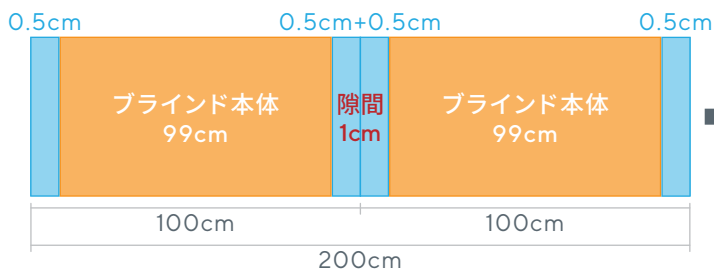
- 幅が200cmを超える場合は製品の重さで昇降が重くなるため、2台に分割しての設置をおすすめします。ただし、昇降操作が少ない窓や、主に羽根角度の調整を中心に使う場合は、200cm以上でも1台での取り付けは可能です。
- 2台に分割する場合、測った窓枠内寸(全幅)を2で割り、1台につき0.2cm足した寸法で注文することをおすすめします。この0.2cmは2台のブラインドの間隙を調整するための数値となります。高さは2台とも測った寸法そのままご注文ください。



▼そのまま分割すると

窓枠内寸200cmを2分割して1台100cmで注文した場合

天井付けは1台のブラインドにつき左右0.5cmずつ小さく製造するため、ブラインド間に**1cmの隙間**が空きます。



▼推奨

窓枠内寸200cmを2分割し、各ブラインドに0.2cmを追加して100.2cmで注文した場合

ブラインドの幅が2台あわせて0.4cm大きくなり、ブラインド間の隙間を**0.6cm**で取り付けられます。



採寸方法 > 天井付け（カーテンBOX内）

◎採寸には必ず金属メジャーを使用してください。

01 奥行きを測る

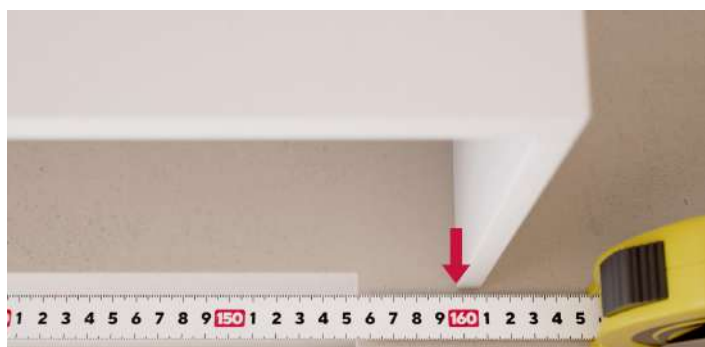
取り付けに必要な奥行きは**13cm**です。取付金具の奥行きは**6.5cm**ですが、取り付けの工程で**13cm**の奥行きが必要になります。窓枠が壁面から突出している場合は、窓枠を除いた奥行きを測ります。

※奥行きが13cm以下の場合は、カーテンBOX内には取り付けができませんのでお気を付けてください。



02 幅を測る

幅は、カーテンBOXの内側（内寸）を端から端までミリ単位で測ります。



03 高さを測る

高さは、カーテンBOX内側の天井からお好みの位置まで測ります。

※腰高窓や出窓の場合、窓枠下部から+5cm～+10cm追加してご注文される方が多いです。



注文時のPOINT

・天井付けは測った寸法そのままご注文ください。

※商品は窓枠に入るよう、製造部門で適切なサイズを差し引いて製造いたします。スラット（羽根）はご注文幅から左右0.5cmずつ（合計1cm）短くなります。

※高さは商品の特性上、指定サイズの-0.5cm～+2.5cm程度の誤差があります。

採寸方法 > 天井付け（カーテンBOX内）



注意事項

- 木の窓枠または木の下地が入っている天井面に取り付けが可能です。ご注文前に下地の有無をご確認ください。
- 窓枠や下地に2cm以上ビスを入れて固定する必要があります。同梱のビスの長さは2.5cmです。



●2分割する場合

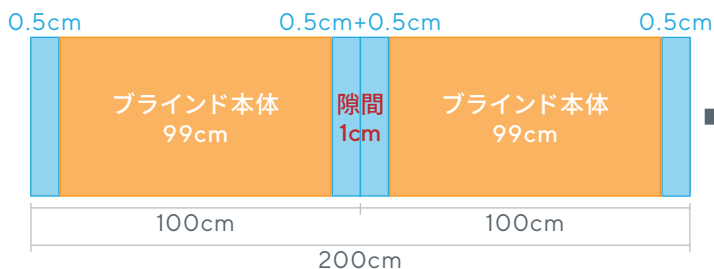
- 幅が200cmを超える場合は製品の重さで昇降が重くなるため、2台に分割しての設置をおすすめします。ただし、昇降操作が少ない窓や、主に羽根角度の調整を中心に使う場合は、200cm以上でも1台での取り付けは可能です。
- 2台に分割する場合、測った窓枠内寸（全幅）を2で割り、1台につき0.2cm足した寸法で注文することをおすすめします。この0.2cmは2台のブラインドの間隙を調整するための数値となります。高さは2台とも測った寸法そのままご注文ください。



▼そのまま分割すると

カーテンBOXの内寸200cmを2分割して
1台100cmで注文した場合

天井付けは1台のブラインドにつき左右0.5cmずつ小さく製造するため、ブラインド間に**1cm**の隙間が空きます。



▼推奨

カーテンBOXの内寸200cmを2分割し、各ブラインドに
0.2cmを追加して100.2cmで注文した場合

ブラインドの幅が2台あわせて0.4cm大きくなり、
ブラインド間の隙間を**0.6cm**で取り付けられます。



採寸方法 > 正面付け（窓枠）

◎採寸には必ず金属メジャーを使用してください。

01 窓枠の厚みを測る

窓枠の厚みを確認します。

●商品幅120cm以下の場合

- 2cm未満：設置できません（別の方法でお取り付けください）。
- 2cm-2.4cm：設置は可能ですが、金具が窓枠からはみ出します。
- 2.5cm以上：問題なく設置できます。

●商品幅120.1cm以上の場合

- 中間金具が付属するため、窓枠の厚みが**3.5cm**以上必要です。

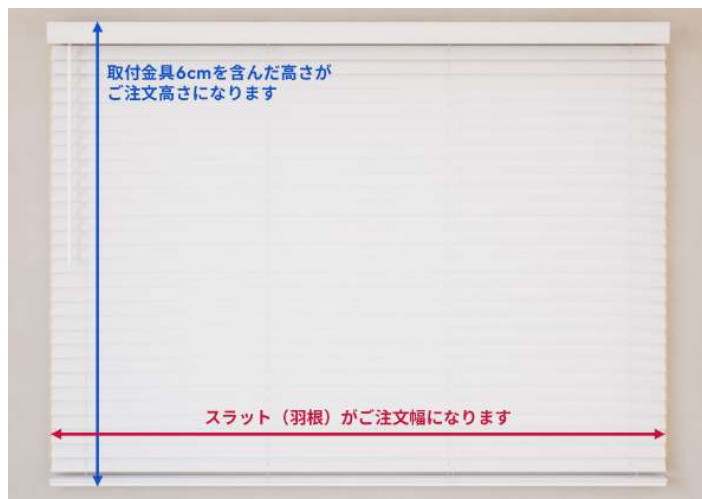
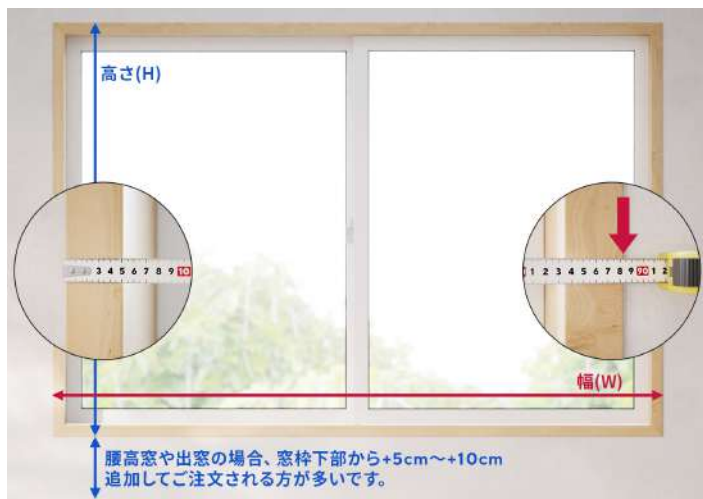


02 幅と高さを測る

幅と高さは、どちらも窓枠の外側（外寸）を端から端までミリ単位で測ります。

幅は測った寸法で入力してください。高さはお好みで下に長くご注文いただいても問題ありません。

腰高窓や出窓の場合、窓枠下部から+5cm～+10cm追加してご注文される方が多いです。



採寸方法 > 正面付け（窓枠）

注文時のPOINT

- 正面付けはお客様のご注文サイズで製造します。

※高さは商品の特性上、指定サイズの-0.5cm～+2.5cm程度の誤差があります。



注意事項

- 木の窓枠または木の下地が入っている壁面に取り付けが可能です。ご注文前に下地の有無をご確認ください。
- 窓枠や下地に2cm以上ビスを入れて固定する必要があります。同梱のビスの長さは2.5cmです。



- 窓枠の外側に2分割で取り付ける場合は、商品のサイズや窓枠の厚みによって取り付けの可否をしますので、カスタマーサポートまでご連絡ください。



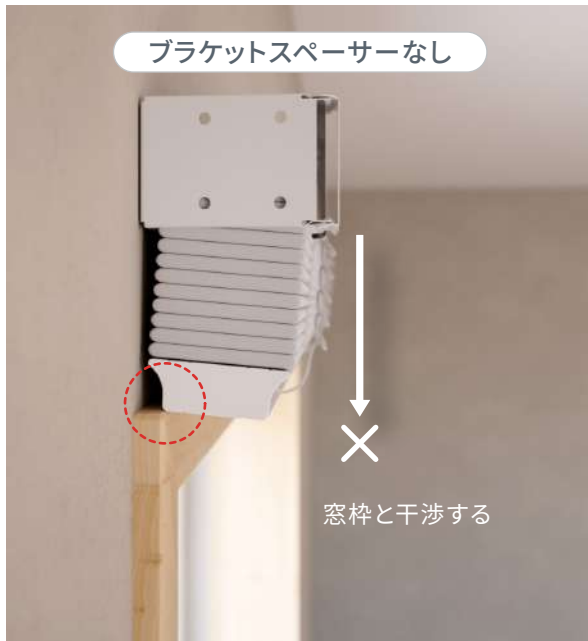
採寸方法 > 正面付け（壁面）

◎採寸には必ず金属メジャーを使用してください。

01 窓枠の出し張りを測る

窓枠とブラインドが干渉しないように、窓枠の出し張り（突き出し量）を確認します。

- 窓枠がない場合：この確認は不要です。
- 窓枠の突き出しが1cm未満の場合：問題ありません。
- 窓枠の突き出しが1cm以上ある場合：
 - 壁と取付金具の間にスペーサーが必要です。
 - スペーサーは、取付金具と同じ大きさの木片などをホームセンター等でご用意ください。
 - スペーサーの厚みに合わせ、壁に2cm以上打ち込めるよう「スペーサーの厚み+2cm」以上の長さのネジをご用意ください。



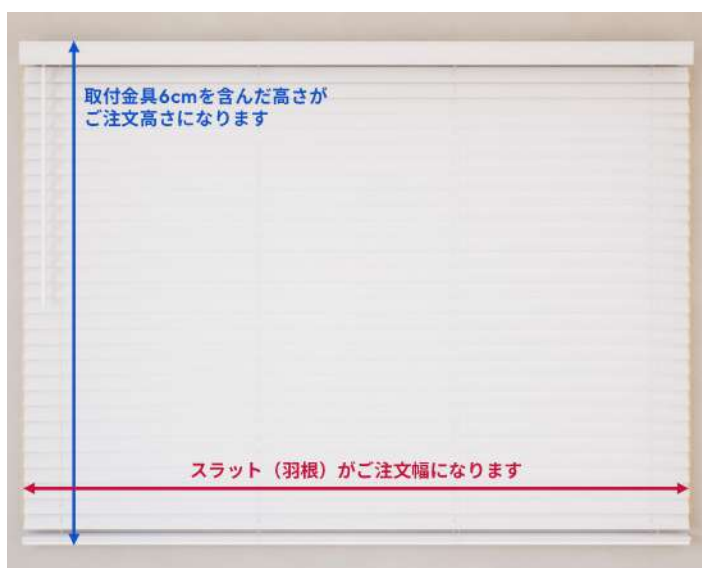
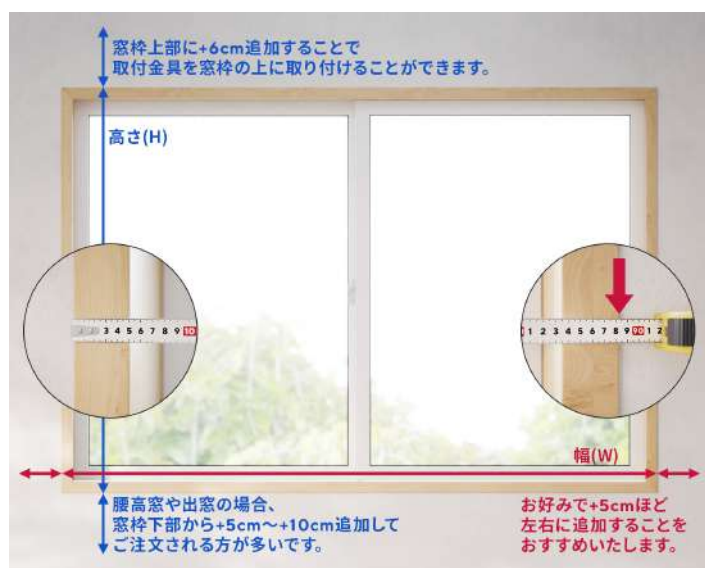
採寸方法 > 正面付け（壁面）

02 幅と高さを測る

幅と高さは、どちらも窓枠の外側（外寸）を端から端までミリ単位で測ります。

- 幅：測った幅の外寸に、お好みで+5cmほど左右のはみ出し分を追加することをおすすめします。
- 高さ：取付金具の縦幅が6cmのため、測った高さの外寸に+6cmのはみ出し分を追加することで、取付金具を窓枠の上に取り付けることができます。また、腰高窓や出窓の場合、窓枠下部から+5cm～+10cmのはみ出し分を追加することをおすすめします。

建具、障害物などを考慮し、幅・高さともにお好みのサイズでご注文ください。



注文時のPOINT

- 正面付けはお客様のご注文サイズで製造します。

※高さは商品の特性上、指定サイズの-0.5cm～+2.5cm程度の誤差があります。

採寸方法 > 正面付け（壁面）



注意事項

- 木の窓枠または木の下地が入っている壁面に取り付けが可能です。ご注文前に下地の有無をご確認ください。
- 窓枠や下地に2cm以上ビスを入れて固定する必要があります。同梱のビスの長さは2.5cmです。



- 幅が200cmを超える場合は、重量があるため2台に分割することを推奨します。昇降操作をあまりしない場所や羽根の角度調整をメインでご使用いただく場合は、幅が200cm以上でも1台で取り付け可能です。

